# My Docs



Project documentation with Markdown.

# はじめに

注意書き等~~~~

- 2/11 - CopyRight

# 目次

1. Welcome to MkDocs	4
1.1 Commands	4
1.2 Project layout	4
2. mkdocs-with-pdf	5
2.1 環境構築	5
2.2 表紙をつける	5
2.3 表紙をカスタマイズする	6
2.4 表紙の次に注意書き等のページを差し込む	7
2.5 PDF出力用のスタイルシートを指定する	7
2.6 見出しのボーダーカラーを変更する	8
2.7 目次へ出力する見出しレベルを指定する	8
2.8 PDF出力用のHTMLを確認する	9
2.9 2カラム構成で出力する	10
2.9.1 Material for MkDocsのサポートブラウザーを確認する	10
2.10 特定のページをPDF出力対象から除外する	11

# 1. Welcome to MkDocs

For full documentation visit mkdocs.org.

#### 1.1 Commands

- mkdocs new [dir-name] Create a new project.
- mkdocs serve Start the live-reloading docs server.
- mkdocs build Build the documentation site.
- $\bullet$  mkdocs -h Print help message and exit.

# 1.2 Project layout

```
mkdocs.yml # The configuration file.

docs/
   index.md # The documentation homepage.
   ... # Other markdown pages, images and other files.
```

- 4/11 - CopyRight

# 2. mkdocs-with-pdf

mkdocs-with-pdfを使用して、ドキュメントをPDFとして出力することができます。

# 2.1 環境構築

WeasyPrintに依存してるので、事前に環境構築が必要。

https://doc.courtbouillon.org/weasyprint/latest/first\_steps.html#linux

インストールする。

```
pip install mkdocs-with-pdf
```

プラグインを有効にする。

```
plugins:
     - with-pdf
```

#### 2.2 表紙をつける

```
plugins:
    - with-pdf:
        cover: true
        cover_title: My Docs
```



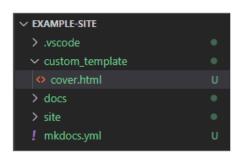
- 5/11 - CopyRight

#### 2.3 表紙をカスタマイズする

表紙用のHTMLを差し込むことができます。

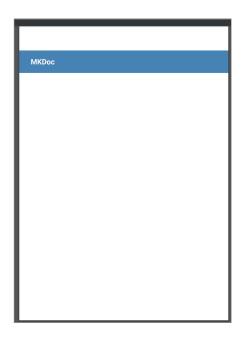
custom template pathで指定したディレクトリー内に、cover.html を配置します。

```
plugins:
    - with-pdf:
        cover: true
        custom_template_path: custom_template
```



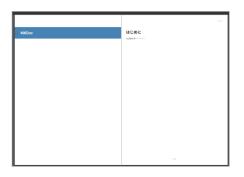


デフォルトで余白が設定されているので、帯状に塗りつぶしたい場合、 margin をマイナスに設定して描画領域 を調整します。



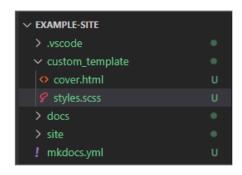
# 2.4 表紙の次に注意書き等のページを差し込む

cover.html 内で改ページを指定することで、2ページ以降にも任意のページを差し込むことができます。



## 2.5 PDF出力用のスタイルシートを指定する

custom template pathで指定したディレクトリー内に、styles.scss を配置します。



## 2.6 見出しのボーダーカラーを変更する

テーマを指定するようなオプションはないので、styles.scss内でスタイルを指定します。

```
$mainColor: #177e7e;
$subColor: rgba($mainColor, 0.85);

article {
    h1 {
        border-bottom: 2px solid $mainColor !important;
    }
    h2 {
        border-bottom: 1px solid $subColor !important;
    }
    h3 {
        border-bottom: 0.5px solid #eee;
    }
    h1>.pdf-order,
    h2>.pdf-order {
        padding-left: 6px;
    }
}
.pdf-order {
    color: $mainColor !important;
}
```

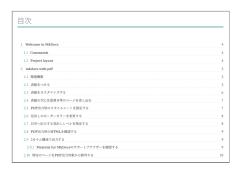


## 2.7 目次へ出力する見出しレベルを指定する

目次へ出力する見出しのレベルを指定することができます。

```
plugins:
    - with-pdf:
    toc_level: 3
```

toc\_level: 3 にすることで、見出しレベルが 3 (###) の項まで目次へ出力されます。



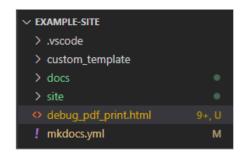
#### 2.8 PDF出力用のHTMLを確認する

スタイルを拡張する際、要素の構造や、属性等確認したい場合があります。 オプションを debug\_html: true とすることで、PDF出力用のHTMLがログ出力されるようになります。

```
plugins:
    - with-pdf:
    debug_html: true
```

pretty-print等のオプションはないので、htmlとして書き出し、フォーマットをかけて確認するとわかりやすいです。

mkdocs build > debug\_pdf\_print.html



見出しへ付与されたアンカーを確認したい場合は、 show\_anchors: true とすることで、ログへ一覧が出力されます。

plugins:
 - with-pdf:
 show\_anchors: true

#### 2.9 2カラム構成で出力する

2カラム構成で出力する見出しレベルを指定することで、そのレベル以下は2カラムで出力されるようになります。

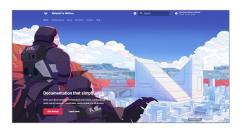
plugins:
 - with-pdf:
 two\_columns\_level: 3

# 2.9.1 Material for MkDocsのサポートブラウザーを確認する

この項は、見出しレベルが3 (###) なので、2カラム構成で出力されます。

### Material for MkDocsのサポートブラウザーを確認する この項は、見出しレベルが3なので、2カラム構成で出力されます。

Material for MkDocsの製品サイトへアクセスします。



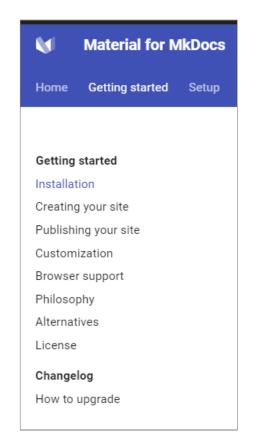


Getting startedをクリックします。





左側のメニューからBrowser supportへ移動します。





対応ブラウザーと各バージョンを確認します。



こんな感じのちょっとしたフローは2カラム構成のほうが無駄なスペースを消費せず見やすい。

## 2.10 特定のページをPDF出力対象から除外する

オプションで、除外したいファイル/ディレクトリを指定します。

MkDocsのオプションで use\_directory\_urls: false としている場合

```
plugins:
    - with-pdf:
    exclude_pages:
        - 'mkdocks-with-pdf-output.html'
```

MkDocsのオプションで use\_directory\_urls: true としている場合

```
plugins:
    - with-pdf:
    exclude_pages:
    - 'mkdocks-with-pdf-output/'
```